

2010年3月期 決算説明会

2011年3月期 経営施策

2010年5月13日

代表取締役社長 久保田 隆



# 目次

1. 2010年3月期 事業概況
2. 事業環境
3. 2011年3月期 経営の重点施策

# 1. 2010年3月期 事業概況(1)

## ◆カタールプロジェクト

- カタールガス社向け第4・5系列LNGプラント 完工
- ラスガス社向け第6・7系列LNGプラント 完工
- エクソンモービル社向け湾岸ガス開発フェーズ2 完工
  
- カタールガス社向け第6・7系列LNGプラント  
2010年末完工に向けて現場工事が大詰め
  
- シェル社向けパールGTLガス前処理プラント  
フェーズ I 2010年末完工予定

# 1. 2010年3月期 事業概況(2)

## ◆海外主要プロジェクト

- ▶ パプアニューギニア エクソンモービル社向けLNGプラント  
⇒新地域でのLNGプラント
- ▶ サウジアラビア アラムコ社向け重質油分解装置  
⇒サウジアラビア再参入
- ▶ ブラジル ペトロbras社向けFloating LNG FEED  
⇒新地域・分野／拠点の設立→EPC受注

# 1. 2010年3月期 事業概況(3)

## ◆ 国内主要プロジェクト

- 重質油処理設備
- LNG受入基地
- 医薬品関連設備
- 新エネルギー関連設備

## 2. 事業環境(1)

### ◆ LNG需給予想

#### ◆ 中期的に需給は逼迫

➤ FID件数が近年少なかったことが影響し、2014年頃需給逼迫へ

#### ◆ 長期的にはバランス

➤ 豪州にて多くの計画案件／需要の増加はアジアが牽引

## 2. 事業環境(2)

### ◆ 米国天然ガス需給予想

#### ◆ 非在来型ガス

- 技術革新を背景に生産量急増
- 減退する在来型ガスの補完
- 水質汚染問題

## 2. 事業環境(3)

### ◆ 欧米勢に加え、躍進著しい韓国コントラクターとの競争が激化

- LNG、ガス、重質油分解等技術による差別化
- 韓国コントラクターとのJV
- 海外設計拠点の最大活用による競争力の強化
- 現地密着営業

出典:各種データより当社作成

### 3. 2011年3月期 経営の重点施策(1)

- ◆カタルプロジェクトの完工

  - ⇒カタルガス社向け第6・7系列 780万トンLNGプラント

  - ⇒シェル社向けGTLプロジェクト

- ◆新規受注プロジェクトの着実な遂行

  - ⇒エクソンモービル社向け

    - パプアニューギニア LNGプロジェクト

  - ⇒アラムコ社向け重質油分解装置建設工事

### 3. 2011年3月期 経営の重点施策(2)

#### ◆ 今後のターゲット分野への取組み

海外	国内
<ul style="list-style-type: none"><li>● 2012年3月期を視野に入れたLNG FEED案件受注・遂行</li><li>● O&amp;Mサービス案件への対応加速</li><li>● パートナーリングを活かした新地域への参入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 新事業分野(電子材料、非鉄金属、バッテリー等)の設備投資ニーズへの対応</li><li>● 国内顧客の海外進出案件に海外子会社を含めたグループ対応</li><li>● LNG受入基地、医薬品設備等各種産業設備の継続受注</li></ul>

### 3. 2011年3月期 経営の重点施策(3)

#### ◆千代田グループ連結受注高

➤海外： 3500 億円

➤国内： 900 億円

---

---

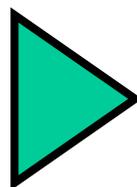
4400 億円

### 3. 2011年3月期 経営の重点施策(4)

#### ◆ 中期経営計画目標達成に向けた2nd Step

2010年3月期(1年目)

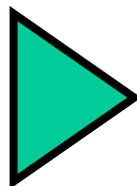
- 新エネルギー分野のEPC及びソフト案件受注



2011年3月期

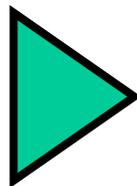
- 水を含む統合ユーティリティ分野、低炭素社会に向けてのビジネスモデルの確立及び営業展開

- 新地域・新分野への現地密着営業及び海外グループ企業による業容拡大



- 地域密着体制によるPLE事業展開深耕
- 国内顧客の海外進出案件への対応
- Floating LNG EPC受注へ向けた営業活動

- Non-EPC事業／営業体制の整備



- 戦略的業務提携を含む競争力強化策による高採算案件受注への営業展開

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

IR・広報室

IR & Public Relations Office

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

URL <https://ssl.chiyoda-corp.com/contact/index.php>

この資料には、2010年5月13日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。